

西谷会計

2015年12月号



今月の税務・会計

【現金管理の心得 2/2】

- ⑤ 毎日の出納締め後に、「現金収支日報」などを作成し、管理責任者の承認を得る仕組みになっている。
- ⑥ 管理責任者は、月に数回、帳簿上の残高と実際の現金残高とが一致しているかをチェックしている。
- ⑦ 現金（または小切手）による集金、現金売上などは、その日のうちに銀行に預けている。
- ⑧ 現金残高はなるべく少額にし、余分な現金は銀行に預けている。
- ⑨ 売掛金等の入金、銀行振込にしてもらっている。
- ⑩ 現金で支出するものの範囲、1件当たりの支出限度額を決めている。
- ⑪ 経費などの支払で一定金額以上のものは銀行振込にしている。
- ⑫ 支払いは領収書、請求書をもとに行っている。慶弔金など領収書がもらえないものは、社内発行の「支払証明書」などを使用している。
- ⑬ 正規の手続きによらないメモ等による現金の支払いは禁止している。
- ⑭ 仮払い等は上司等の承認を得ているものに限って支給するようにしている。
- ⑮ 仮払金や旅費の精算は、用務終了後や出張から帰着後、速やかに行うことを徹底している。

所長からのメッセージ

毎年12月12日は漢字の日と呼ばれ、その年の世相を表す漢字が発表されています。日本漢字能力検定協会のキャンペーンで1995年から行われています。

これまで唯一2度選ばれた漢字は、2000年と2012年の「金」でした（シドニーとロンドンオリンピック）。災害関連では、1995年の「震」（阪神・淡路大震災）、2004年の「災」（新潟県中越地震）、2011年の「絆」（東日本大震災）の3度が選ばれています。変わったところでは、1999年の「末」（世紀末）や2003年の「虎」（阪神優勝）でしょうか。

漢字を見ると、その年その年の、印象に残る出来事が思い浮かびます。今年は、どんな漢字が選ばれるのでしょうか、楽しみですね。



経営ワンポイント

【外部環境の変化】

社長というのは自社の売上拡大、収益増大を図ることは勿論のことなのですが、ただ拡大すればいいというものではなく、計画的に拡大しなくてはなりません。具体的には、特定の取引先に偏ることなく、例えば主力取引先は一社に絞らずに最低でも三社にちりばめることです。それもその3社は、同業種とか同じ業界ではなく、別々の業界であることが望ましいでしょう。また、最大の取引先でも、万一の場合の倒産のリスクを考えれば30%以上を依存するべきではありません。

会社の外部環境は、この先どのように変化するかはわかりません。重要なことは、外部環境の変化は、自社だけではなく取引先にも同じように起こりうるということです。取引先の業績が悪化するかもしれませんし、取引先が方針を変更するかもしれません。極端な場合、取引先は事業から撤退するかもしれないのです。自社の外部環境が変わらなくても、取引先の事情で売上が減少するかもしれないことを忘れてはなりません。

特定の取引先に売上が偏ることは、自社の事業上の大きなリスクとなるのです。



夏子の部屋

あっという間に気づけば12月になりました。12月は色々な行事があったり仕事も忙しくなったり、とにかく慌しくなりますね。12月の行事の中でも特別華やかなものがクリスマスではないでしょうか？

私はクリスマスという行事の中でも「クリスマスツリーを飾る」事が一番好きです。クリスマスツリーについて調べてみました。中々奥が深い様です。

クリスマスツリーは知恵の樹の象徴であるとか、ツリーの先端に飾るものはキリストの降誕を知らせたベツレヘムの星に困っていると、使われている木の種類がアメリカとヨーロッパでは違うとか、等々。

全く知りませんでした！！知りませんでした。今年も我が家では某二〇リで買ったプラスチック製のクリスマスツリーに目一杯飾り付けをしました。久しぶりに電飾を新調し、ゴールド色の煌めきを毎日楽しんでいます。一年中ツリーをキラキラさせていたいな～。

西谷会計事務所

TEL 017-774-2315